

熊本大学医学部医学科教育プログラム:学修成果のマイルストーン

時期<登山の目安>		2年次から3年次への進級時<3合目>		4年次共用試験合格時<6合目>		5年次臨床実習II開始時<8合目>		卒業時(学修成果)<頂上>	
コア学修成果		#	<b>BN</b> Beginner or Novice for Medicine レベル 体験し理解し始める・模擬的に実施し始める	<b>CS</b> Clinical Clerkship Student、臨床実習生(医学)レベル 体験し理解する・模擬的に実施できる	<b>SS</b> Senior Clinical Clerkship Student レベル 医療や研究の場で、実践的に理解し始める・実施し始める	<b>JR</b> Junior Resident or Junior Researcher レベル 医療や研究の場で、実践的に理解する・実施する			
A. 豊かな人間性	A01	社会通念に基づいた常識や法規及び規則について体験し理解し始める。	社会通念に基づいた常識や法規及び規則について体験し理解する。	社会通念に基づいた常識ある行動で、法規及び規則を遵守し始める。	社会通念に基づいた常識ある行動で、法規及び規則を遵守する。				
	A02	病める人及びその家族を尊重すること、誠実、利他的、共感的に対応することを体験し理解し始める。	病める人及びその家族を尊重すること、誠実、利他的、共感的に対応することを体験し理解する。	病める人及びその家族を尊重し、誠実、利他的、共感的に対応し始める。	病める人及びその家族を尊重し、誠実、利他的、共感的に対応できる。				
	A03	医学、医療に影響を及ぼす文化、社会的要因について体験し理解し始める。	医学、医療に影響を及ぼす文化、社会的要因について体験し理解する。	医学、医療に影響を及ぼす文化、社会的要因について説明ができ始める。	医学、医療に影響を及ぼす文化、社会的要因について理解し、説明できる。				
B. 基本的 診療能力	基本的知識	B01	ヒトの正常な構造と機能、発生およびその経年変化について理解し始める。	ヒトの正常な構造と機能、発生およびその経年変化について体験し理解する。	ヒトの正常な構造と機能、発生およびその経年変化について説明ができ始める。	ヒトの正常な構造と機能、発生およびその経年変化について説明できる。			
		B02	疾患の原因、病態、自然経過、危険因子と予防方法について理解し始める。	疾患の原因、病態、自然経過、危険因子と予防方法について体験し理解する。	医療や研究の場において、疾患の原因、病態、自然経過、危険因子と予防方法について説明し始める。	医療や研究の場において、疾患の原因、病態、自然経過、危険因子と予防方法について説明できる。			
		B03	治療の原理(薬物治療、非外科的侵襲治療、放射線治療、外科治療など)について理解し始める。	治療の原理(薬物治療、非外科的侵襲治療、放射線治療、外科治療など)について体験し理解する。	治療の原理(薬物治療、非外科的侵襲治療、放射線治療、外科治療など)について説明し始める。	治療の原理(薬物治療、非外科的侵襲治療、放射線治療、外科治療など)について説明できる。			
		B04	疫学、人口統計、環境、行動科学について理解し始める。	疫学、人口統計、環境、行動科学について体験し理解する。	疫学、人口統計、環境、行動科学について説明し始める。	疫学、人口統計、環境、行動科学について説明できる。			
		B05	症状から、診断に至るプロセスを網羅的及び系統的に理解し始める。	症状から、診断に至るプロセスを網羅的及び系統的に体験し理解する。	症状から、診断に至るプロセスを網羅的及び系統的に説明し始める。	症状から、診断に至るプロセスを網羅的及び系統的に説明できる。			
	医療の実践	B06	心理、社会的背景を含む患者の主要な病歴を、患者に配慮しつつ模擬的に体験し聴取し始める。	心理、社会的背景を含む患者の主要な病歴を、患者に配慮しつつ模擬的に体験し聴取できる。	心理、社会的背景を含む患者の主要な病歴を、患者に配慮しつつ正確に聴取し始める。	心理、社会的背景を含む患者の主要な病歴を、患者に配慮しつつ正確に聴取できる。			
		B07	基本的診察手技および検査手技を模擬的に体験し実施し始める。	基本的診察手技および検査手技を模擬的に体験し実施できる。	基本的診察手技および検査手技を適切に実施し始める。	基本的診察手技および検査手技を適切に実施できる。			
		B08	模擬的に、患者の様々な情報を統合しプロブレムリストを作成し、的確な診断を行い、適切な検査計画・治療計画を立案し始める。	模擬的に、患者の様々な情報を統合しプロブレムリストを作成し、的確な診断を行い、適切な検査計画・治療計画を立案する。	患者の様々な情報を統合しプロブレムリストを作成し、的確な診断を行い、適切な検査計画・治療計画を立案し始める。	患者の様々な情報を統合しプロブレムリストを作成し、的確な診断を行い、適切な検査計画・治療計画を立案できる。			
		B09	診療の記録を診療録に模擬的に体験し記載し始める。	診療の記録を診療録に模擬的に体験し記載できる。	診療の記録を診療録に適切に記載し始める。	診療の記録を診療録に適切に記載することができる。			
		B10	患者教育の概要を体験し理解し始める。	患者教育の概要を体験し理解する。	患者教育の概要を実践的に理解し始める。	患者教育の概要を実践的に理解している。			
C. 自己研鑽と プロフェッショ ナリズム	自己研鑽	C01	自己の現状を適切に評価して、目標を設定し始める。	自己の現状を適切に評価して、目標を設定できる。	医療や研究の場において、自己の現状を適切に評価して、目標を設定し始める。	医療や研究の場において、自己の現状を適切に評価して、目標を設定できる。			
		C02	自己の目標を達成するための方法を考え、自己学修が開始できる。	自己の目標を達成するための方法を考え、自己学修ができる。	医療や研究の場において、自己の目標を達成するための方法を考え、自己学修が開始できる。	医療や研究の場において、自己の目標を達成するための方法を考え、自己学修ができる。			
	プロフェッショ ナリズム	C03	模擬的に、患者にとって最善の治療を体験し選択し始める。	模擬的に、患者にとって最善の治療を体験し選択できる。	患者にとって最善の治療を選択し始める。	患者にとって最善の治療を選択できる。			
		C04	模擬的に、自分の知識、技能、行動に責任を持って患者に向き合い始める。	模擬的に、自分の知識、技能、行動に責任を持って患者に向き合うことができる。	自分の知識、技能、行動に責任を持って患者に向き合い始める。	常に自分の知識、技能、行動に責任を持って患者に向き合うことができる。			
		C05	倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動することや、医療に関連した規範について体験し理解し始める。	倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動することや、医療に関連した規範について体験し理解する。	倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動し、医療に関連した規範を遵守し始める。	倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動し、医療に関連した規範を遵守する。			
		C06	模擬的に、診療情報を適切に管理・利用することを理解し始める。	模擬的に、診療情報を適切に管理・利用することができる。	診療情報を適切に管理・利用し始める。	診療情報を適切に管理・利用することができる。			
		C07	模擬的に、自らのキャリアをデザインし、達成に向けた継続的な学修の重要性を体験し理解し始める。	模擬的に、自らのキャリアをデザインし、達成に向けた継続的な学修の重要性を体験し理解する。	自らのキャリアをデザインし、達成に向けた継続的な学修の重要性を理解し始める。	自らのキャリアをデザインし、達成に向けた継続的な学修の重要性を理解できる。			
D. チーム医療と 信頼される 医療の実践	チーム医療	D01	医療職種専門性を理解し、チーム医療における医師の役割を体験し理解し始める。	医療職種専門性を理解し、チーム医療における医師の役割を体験し理解する。	医療職種の専門性を理解し、チーム医療における医師の役割を説明し始める。	医療職種の専門性を理解し、チーム医療における医師の役割を説明できる。			
		D02	医師同士や他職種との信頼関係を築くために、コミュニケーションが重要であることを体験し理解し始める。	医師同士や他職種との信頼関係を築くために、コミュニケーションが重要であることを体験し理解する。	医師同士や他職種との信頼関係を築くために、コミュニケーションが重要であることを理解し実践し始める。	医師同士や他職種との信頼関係を築くために、コミュニケーションが重要であることを理解し実践できる。			
	患者に信頼される 医療	D03	医療を実施する上でコミュニケーションを通じて良好な患者・家族-医師関係を構築することについて体験し理解し始める。	医療を実施する上でコミュニケーションを通じて良好な患者・家族-医師関係を構築することについて体験し理解する。	医療を実施する上でコミュニケーションを通じて良好な患者・家族-医師関係を構築し始める。	医療を実施する上でコミュニケーションを通じて良好な患者・家族-医師関係を構築できる。			
		D04	インフォームドコンセントの重要性を体験し理解し始める。	インフォームドコンセントの重要性を体験し理解する。	インフォームドコンセントの重要性を理解し、説明内容を準備し始める。	インフォームドコンセントの重要性を理解し、説明内容を準備できる。			
		D05	患者の安全性を確保した医療の実践について体験し理解し始める。	患者の安全性を確保した医療の実践について体験し理解する。	患者の安全性を確保した医療を実践し始める。	患者の安全性を確保した医療を実践できる。			
		D06	医療安全と危機管理について体験し理解し始める。	医療安全と危機管理について体験し理解する。	医療安全と危機管理について理解し実践し始める。	医療安全と危機管理について理解し実践できる。			
E. 医科学研究	E01	医学的発見の基礎となる科学的理論と方法論を理解し始める。	医学的発見の基礎となる科学的理論と方法論を体験し理解する。	医療や研究の場において、医学的発見の基礎となる科学的理論と方法論を理解し始める。	医療や研究の場において、医学的発見の基礎となる科学的理論と方法論を理解する。				
	E02	医学・医療の研究・開発が社会に貢献することを理解し始める。	医学・医療の研究・開発が社会に貢献することを体験し理解する。	医療や研究の場において、医学・医療の研究・開発が社会に貢献することを理解し始める。	医療や研究の場において、医学・医療の研究・開発が社会に貢献することを理解する。				
	E03	基礎および臨床研究に関する倫理的事項を理解し始める。	基礎および臨床研究に関する倫理的事項を体験し理解する。	医療や研究の場において、基礎および臨床研究に関する倫理的事項を理解し始める。	医療や研究の場において、基礎および臨床研究に関する倫理的事項を理解する。				
F. 国際的視野	F01	国際社会における医学・医療及び保健の現状を理解し始める。	国際社会における医学・医療及び保健の現状を理解する。	医療や研究の場において、国際社会における医学・医療及び保健の現状を理解し始める。	医療や研究の場において、国際社会における医学・医療及び保健の現状を理解する。				
	F02	国際社会に貢献できる語学力および対応力を有し始める。	国際社会に貢献できる語学力および対応力を有する。	医療や研究の場において、国際社会に貢献できる語学力および対応力を有し始める。	医療や研究の場において、国際社会に貢献できる語学力および対応力を有する。				
G. 地域医療	G01	医療、福祉、介護における社会保障制度について体験し理解し始める。	医療、福祉、介護における社会保障制度について体験し理解する。	医療、福祉、介護における社会保障制度について理解し説明し始める。	医療、福祉、介護における社会保障制度について理解し説明できる。				
	G02	健康・福祉に関する問題と解決策について体験し理解し始める。	健康・福祉に関する問題と解決策について体験し理解する。	地域の健康・福祉に関する問題と解決策について理解し、それに関する知識を修得し始める。	地域の健康・福祉に関する問題と解決策について理解し、それに関する知識を修得する。				
	G03	医療機関ごとの連携だけに留まらず、福祉・介護に関する機関、及び行政における他分野・専門・職種間との連携の重要性を体験し理解し始める。	医療機関ごとの連携だけに留まらず、福祉・介護に関する機関、及び行政における他分野・専門・職種間との連携の重要性を体験し理解する。	医療機関ごとの連携だけに留まらず、福祉・介護に関する機関、及び行政における他分野・専門・職種間との連携の重要性を実践的に理解し始める。	医療機関ごとの連携だけに留まらず、福祉・介護に関する機関、及び行政における他分野・専門・職種間との連携の重要性を実践的に理解する。				
	G04	熊本県固有の事例を通して、熊本県の地域医療を体験し理解し始める。	熊本県固有の事例を通して、熊本県の地域医療を体験し理解する。	熊本県固有の事例を通して、熊本県の地域医療を実践的に理解し始める。	熊本県固有の事例を通して、熊本県の地域医療を実践的に理解する。				

## 熊本大学医学部医学科教育プログラム:学修成果のロードマップ

【凡例】			医学部医学科 授業科目(群)-試験																				同地域特追加科目 5年次 地域医療総合演習	同みらい医療追加科目群 1-6年次 みらい医療演習Ⅰ～Ⅵ みらい医学セミナーⅠ～Ⅵ						
			1-2年次										3-4年次					4-5年次	5-6年次											
			情報科目	外国語(英語)	理系基礎科目(数学・理科・統計)	医書情報Ⅰ	医学総論	地域医療福祉体験実習・ 大分県立総合医療センター 実習	医学生物学	生化学	遺伝医学	肉眼解剖学・人体発生学・骨学実習	生理解剖学Ⅰ/Ⅱ・実習・神経解剖学・ 生理解剖学Ⅲ・実習	解剖実習	病理学・腫瘍医学	微生物学・免疫学	医学英語	臨床医学Ⅰ	研究室配属	臨床医学Ⅱ/Ⅲ	早期体験臨床実習Ⅲ	社会医学				臨床医学Ⅳ	臨床医学Ⅴ	臨床実習前O.S.T.C.E	臨床実習Ⅰ	O.S.T.C.E 臨床実習Ⅱ・卒業試験 臨床実習Ⅲ
<b>JR Junior Resident or Junior Researcher レベル</b> 医療や研究の場で、実践的に理解する・実施する 卒業時学修成果<頂上> <b>SS Senior Clinical Clerkship Student レベル</b> 医療や研究の場で、実践的に理解し始める・実施し始める 5年次臨床実習Ⅱ開始時<8合目> <b>CS Clinical Clerkship Student、臨床実習生(医学)レベル</b> 体験し理解する・模擬的に実施できる 4年次共用試験合格時<6合目> <b>BN Beginner or Novice for Medicine レベル</b> 体験し理解し始める・模擬的に実施し始める 2年次から3年次への進級時<3合目> <b>NC Not Covered</b> 該当科目(群)の単位取得や試験合格は、該当学修成果のマイルストーンへの到達要件でない ※各マイルストーンBN～JRの詳細はマイルストーン(別表)を参照																														
<b>【説明】</b> BN～JRのレベルが示された授業科目(群)の単位取得は、該当する学修成果のマイルストーンBN～JRに到達するための要件である。例えば、コア学修成果「A. 豊かな人間性」の卒業時学修成果「A01 社会通念に基づいた常識ある行動で、法規及び規則を遵守する。」のBNレベルのマイルストーン(別表)、「社会通念に基づいた常識や法規及び規則について体験し理解し始める。」に到達するためには、A01の「BN」に該当する「医学総論」、「1、2年次の「早期体験実習」、「解剖実習」、「臨床医学Ⅰ」の単位を取得し、2年次から3年次への進級要件を満たす必要がある。																														
コア学修成果	#	学修成果	NC	NC	NC	NC	BN	BN	NC	NC	NC	NC	NC	BN	NC	NC	NC	BN	CS	CS	CS	CS	CS	CS	SS	JR	SS	BN-JR	BN-JR	
A. 豊かな人間性	A01	社会通念に基づいた常識ある行動で、法規及び規則を遵守する。	NC	NC	NC	NC	BN	BN	NC	NC	NC	NC	NC	BN	NC	NC	NC	BN	CS	CS	CS	CS	CS	CS	SS	JR	SS	NC	NC	
	A02	病める人及びその家族を尊重し、誠実、利他的、共感的に対応できる。	NC	NC	NC	NC	BN	BN	NC	NC	NC	NC	NC	BN	NC	NC	NC	BN	CS	CS	CS	CS	CS	SS	JR	SS	NC	NC		
	A03	医学、医療に影響を及ぼす文化、社会的要因について理解し、説明できる。	NC	NC	NC	NC	BN	BN	NC	NC	NC	NC	NC	BN	NC	NC	NC	BN	CS	CS	CS	CS	CS	SS	JR	SS	NC	NC		
B. 基本的診療能力	基本的知識	B01	ヒトの正常な構造と機能、発生およびその経年変化について説明できる。	NC	NC	NC	NC	BN	BN	BN	BN	BN	BN	BN	BN	BN	BN	NC	BN	CS	CS	CS	CS	CS	SS	JR	SS	BN-JR	BN-JR	
		B02	医療や研究の場において、疾患の原因、病態、自然経過、危険因子と予防方法について説明できる。	NC	NC	NC	NC	BN	BN	NC	BN	BN	BN	BN	BN	BN	BN	BN	NC	BN	CS	CS	CS	CS	CS	SS	JR	SS	BN-JR	BN-JR
		B03	治療の原理(薬物治療、非外科的侵襲治療、放射線治療、外科治療など)について説明できる。	NC	NC	NC	NC	BN	BN	NC	BN	BN	BN	BN	BN	BN	BN	BN	NC	BN	CS	CS	CS	CS	CS	SS	JR	SS	BN-JR	BN-JR
		B04	疫学、人口統計、環境、行動科学について説明できる。	NC	NC	BN	NC	BN	BN	NC	NC	NC	NC	NC	BN	BN	NC	BN	CS	CS	CS	CS	CS	CS	SS	JR	SS	BN-JR	BN-JR	
		B05	症状から、診断に至るプロセスを網羅的及び系統的に説明できる。	NC	NC	NC	NC	BN	BN	NC	BN	BN	BN	BN	BN	BN	BN	BN	NC	BN	CS	CS	CS	CS	CS	SS	JR	SS	BN-JR	BN-JR
	医療の実践	B06	心理、社会的背景を含む患者の主要な病歴を、患者に配慮しつつ正確に聴取できる。	NC	NC	NC	NC	BN	BN	NC	BN	BN	BN	BN	BN	BN	BN	BN	NC	BN	CS	CS	CS	CS	CS	SS	JR	SS	BN-JR	BN-JR
		B07	基本的診療手技および検査手技を適切に実施できる。	NC	NC	NC	NC	BN	BN	NC	BN	BN	BN	BN	BN	BN	BN	BN	NC	BN	CS	CS	CS	CS	CS	SS	JR	SS	BN-JR	BN-JR
		B08	患者の様々な情報を統合しプロブレムリストを作成し、的確な診断を行い、適切な検査計画・治療計画を立案できる。	NC	NC	NC	NC	BN	BN	NC	BN	BN	BN	BN	BN	BN	BN	BN	NC	BN	CS	CS	CS	CS	CS	SS	JR	SS	BN-JR	BN-JR
		B09	診療の記録を診療録に適切に記載することができる。	NC	NC	NC	NC	BN	BN	NC	BN	BN	BN	BN	BN	BN	BN	BN	NC	BN	CS	CS	CS	CS	CS	SS	JR	SS	BN-JR	BN-JR
		B10	患者教育の概要を実践的に理解している。	NC	NC	NC	NC	BN	BN	NC	BN	BN	BN	BN	BN	BN	BN	BN	NC	BN	CS	CS	CS	CS	CS	SS	JR	SS	BN-JR	BN-JR
C. 自己研鑽とプロフェッショナルナリズム	自己研鑽	C01	医療や研究の場において、自己の現状を適切に評価して、目標を設定できる。	NC	NC	NC	NC	BN	BN	NC	NC	NC	NC	NC	NC	NC	NC	NC	CS	NC	CS	CS	CS	CS	SS	JR	SS	BN-JR	BN-JR	
		C02	医療や研究の場において、自己の目標を達成するための方法を考え、自己学修ができる。	NC	NC	NC	NC	BN	BN	NC	NC	NC	NC	NC	NC	NC	NC	NC	NC	CS	NC	CS	CS	CS	CS	SS	JR	SS	BN-JR	BN-JR
	プロフェッショナルナリズム	C03	患者にとって最善の治療を選択できる。	NC	NC	NC	NC	BN	BN	NC	NC	NC	NC	NC	NC	NC	NC	NC	BN	CS	CS	CS	CS	CS	SS	JR	SS	BN-JR	NC	
		C04	常に自分の知識、技能、行動に責任を持って患者に向き合うことができる。	NC	NC	NC	NC	BN	BN	NC	NC	NC	NC	NC	BN	NC	NC	NC	BN	NC	CS	CS	CS	CS	CS	SS	JR	SS	NC	NC
		C05	倫理的問題を把握し、倫理的原則に基づいて行動し、医療に関連した規範を遵守する。	NC	NC	NC	NC	BN	BN	NC	NC	NC	NC	NC	BN	NC	NC	NC	BN	CS	CS	CS	CS	CS	SS	JR	SS	BN-JR	BN-JR	
		C06	診療情報を適切に管理・利用することができる。	BN	NC	NC	BN	BN	BN	NC	NC	BN	BN	NC	NC	NC	BN	BN	CS	CS	CS	CS	CS	CS	SS	JR	SS	BN-JR	BN-JR	
		C07	自らのキャリアをデザインし、達成に向けた継続的な学修の重要性を理解できる。	NC	NC	NC	NC	BN	BN	NC	NC	NC	NC	NC	NC	NC	NC	NC	NC	CS	NC	CS	CS	CS	CS	SS	JR	SS	BN-JR	BN-JR
D. チーム医療と信頼される医療の実践	チーム医療	D01	医療職種の専門性を理解し、チーム医療における医師の役割を説明できる。	NC	NC	NC	NC	BN	BN	NC	NC	NC	NC	NC	NC	NC	NC	BN	NC	CS	CS	CS	CS	CS	SS	JR	SS	NC	BN-JR	
		D02	医師同士や他職種との信頼関係を築くために、コミュニケーションが重要であることを理解し実践できる。	NC	NC	NC	NC	BN	BN	NC	NC	NC	NC	NC	BN	NC	NC	NC	BN	NC	CS	CS	CS	CS	CS	SS	JR	SS	NC	BN-JR
	患者に信頼される医療	D03	医療を実施する上でコミュニケーションを通じて良好な患者・家族-医師関係を構築できる。	NC	NC	NC	NC	BN	BN	NC	NC	NC	NC	NC	NC	NC	NC	BN	NC	CS	CS	CS	CS	CS	SS	JR	SS	NC	BN-JR	
		D04	インフォームドコンセントの重要性を理解し、説明内容を準備できる。	NC	NC	NC	BN	BN	BN	NC	NC	BN	NC	NC	NC	NC	NC	BN	NC	CS	CS	CS	CS	CS	SS	JR	SS	NC	BN-JR	
		D05	患者の安全性を確保した医療を実践できる。	NC	NC	NC	BN	BN	BN	NC	NC	BN	NC	NC	NC	NC	BN	NC	CS	CS	CS	CS	CS	SS	JR	SS	NC	BN-JR		
		D06	医療安全と危機管理について理解し実践できる。	NC	NC	NC	BN	BN	BN	NC	NC	BN	NC	NC	NC	BN	NC	BN	CS	CS	CS	CS	CS	SS	JR	SS	BN-JR	BN-JR		
E. 医学研究	E01	医療や研究の場において、医学的発見の基礎となる科学的理論と方法論を理解する。	NC	NC	BN	BN	BN	NC	BN	NC	BN	BN	BN	BN	BN	BN	BN	CS	CS	NC	CS	CS	CS	SS	JR	SS	BN-JR	BN-JR		
	E02	医療や研究の場において、医学・医療の研究・開発が社会に貢献することを理解する。	NC	NC	NC	NC	BN	NC	NC	NC	BN	BN	BN	BN	BN	BN	BN	CS	CS	NC	CS	CS	CS	SS	JR	SS	BN-JR	BN-JR		
	E03	医療や研究の場において、基礎および臨床研究に関する倫理的事項を理解する。	NC	NC	NC	BN	BN	NC	NC	NC	BN	BN	BN	BN	BN	BN	BN	NC	BN	CS	CS	NC	CS	CS	SS	JR	SS	BN-JR	BN-JR	
F. 国際的視野	F01	医療や研究の場において、国際社会における医学・医療及び保健の現状を理解する。	NC	NC	NC	NC	BN	BN	NC	NC	BN	NC	NC	NC	BN	BN	BN	CS	CS	CS	CS	CS	SS	JR	SS	BN-JR	BN-JR			
	F02	医療や研究の場において、国際社会に貢献できる語学力および対応力を有する。	NC	BN	NC	BN	BN	NC	NC	BN	BN	BN	BN	BN	BN	BN	BN	CS	CS	NC	CS	CS	CS	SS	JR	SS	BN-JR	BN-JR		
G. 地域医療	G01	医療、福祉、介護における社会保障制度について理解し説明できる。	NC	NC	NC	NC	BN	BN	NC	NC	BN	NC	NC	NC	BN	BN	BN	CS	CS	CS	CS	NC	CS	SS	JR	SS	BN-JR	BN-JR		
	G02	地域の健康・福祉に関する問題と解決策について理解し、それに関する知識を修得する。	NC	NC	NC	BN	BN	BN	NC	NC	BN	BN	BN	BN	BN	BN	BN	CS	CS	CS	CS	NC	CS	SS	JR	SS	BN-JR	BN-JR		
	G03	医療機関ごとの連携だけに留まらず、福祉・介護に関する機関、及び行政における他分野・専門・職種間との連携の重要性を実践的に理解する。	NC	NC	NC	NC	BN	BN	NC	NC	NC	NC	NC	NC	BN	NC	BN	CS	CS	CS	CS	NC	CS	SS	JR	SS	BN-JR	BN-JR		
	G04	熊本県固有の事例を通して、熊本県の地域医療を実践的に理解する。	NC	NC	NC	BN	BN	BN	NC	NC	BN	BN	BN	BN	BN	BN	BN	NC	CS	CS	CS	NC	CS	SS	JR	SS	BN-JR	BN-JR		